

公表

## 事業所における自己評価総括表 《児童発達支援》

○事業所名	ほっとルーム倉敷		
○保護者評価実施期間	令和 6年 9月 1日		～ 令和 6年 9月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	令和 6年 9月 1日		～ 令和 6年 9月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 11月 27日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・放課後デイサービスの利用者も居るため、小学校生活のイメージがしやすいこと。	・児童発達支援と放課後等デイサービス一緒に活動時間があるため、小学生との関わりや、小学校生活に向けた支援を行っている。	・年代に合わせた支援の方法やプログラムも、より充実させていく。
2	・利用者との関係性作りを大切にしており、一緒になって遊びを楽しんだり、どの指導員とも話しやすい環境を心がけている。	・グループワークや余暇活動には指導員も一緒になって取り組み、日々の様子の変化に気づけるようにコミュニケーションを取っている。	・個別の活動でもゆっくり話したり、相談しやすい環境を整えたりしていく。
3	・高校未就学の児童発達支援にも対応している。	・中学卒業後、様々な理由で高校に在籍していない方も児童発達支援として進学に向けた支援を行っている。	・将来に向けた移行支援を各関係機関と密に連携を取っていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・支援スペースが限られているため、粗大運動などの活動は難しいこと。	・建物の構造上、利用人数に対しての広いスペースがないこと。	・安全面を考慮した上で、屋外での活動を取り入れる取り組みが必要。 ・部屋を分け、少人数に分かれて活動しスペースを確保する工夫が必要。
2	・駐車場が少ないこと。	・利用時間が放課後に集中し、送迎時間が重なっていること。	・送迎の時間を分散させたり、職員が車誘導を行ったりする工夫が必要。
3			